

第2回 江陵中学校区 学校運営協議会(概要)

日時 令和5年11月21日(火) 18時～19時20分
場所 滝川市立江陵中学校 会議室

【司会進行 事務局校 教頭 小野寺英樹】

2. 会長あいさつでは、本間章久会長より挨拶がありました。
「それぞれの学校での活動が行われ、その報告がこれからされようとしていますが、日ごろから思っていることや考えていることをこの機会に述べていただき、充実した会議になりますように皆さんのご協力をよろしくお願いいたします。」との挨拶がありました。
3. 「報告事項」以降は本間章久会長が議長として議事を進行いたしました。
(1)各部会報告では、①教育支援部会の活動について佐藤教頭より資料のとおり説明がありました。②小中連携部会の活動について木下主幹教諭より資料のとおり説明がありました。③評価運営部会の活動について小野寺教頭より資料のとおり説明がありました
(2)各種調査結果報告について、木下主幹教諭より資料のとおり説明がありました。
4. 「協議事項」では
(1)江陵中学校区教育課程について資料のとおり説明があり、質疑応答・協議の上、承認されました。
(2)学校や地域課題についての意見交流では、主に部活動の地域移行について意見交流がなされました。



【挨拶する本間会長】



【全体会の様子】

全体会閉会后、5 部会打ち合わせに移りました。
各部会での協議内容については以下の通りです。

＜教育支援部会＞

- I 登下校中の見守り活動
 - 1 実施校区について
各学校の調査の結果、ボランティアによる活動は、滝川第二小学校区（ベントス前交差点）で行われた。
 - 2 今後の取組について
感謝の意を表すため、広報誌に活動内容等を掲載することとする。
- II 人材バンクの整理
 - ・人材バンク（仮称）の整理に向けて、現在の人材活用の確認と希望人材の確認を行った。
 - 1 人材活用について
滝川第一小学校を除く3校で人材の活用を確認した。
 - 2 希望人材について
 - ・滝川第一小学校を除く3校からの支援内容について確認した。
 - ・滝川第二小学校から挙がっていた教材園の耕起、江陵中学校から挙がっていたグラウンドの融雪剤散布については、今後、委員の知り合いの方への働きかけが行われる。

・江部乙小学校から拳がっていた廃品回収時のトラックの手配等については、これまでどおり学校で行うこととした。

3 その他

どこまで学校で、またはCSでの取組として行うのかという線引きが難しいということが話題となった。持続可能なことか否かという視点から見極めることがその一つの目安となると考えられるため、今後も人材活用の確認及び希望人材の確認は続けていくことを確認した。

<小中連携部会>

1 家庭学習週間の取組について

(1) 各校の取組交流

・第一小

一年間を通じて、各学年の実態に応じて取組例を示したり、各学級での好事例を紹介したりして意欲の向上を図っている。また、読書活動を推進し、家庭学習でも積極的に取り組むように指導している。家庭学習週間においては、取組が充実するよう啓発している。

・第二小

家庭学習週間に「生活リズムチェック表」に取り組み、学級指導において家庭学習の目標時間を設定など、取組の充実を図っている。また、各学年の家庭学習時間等について集計し、保護者向けのお便りを配付するなど、家庭への発信をしている。

・江部乙小

一年間を通じて家庭学習への取組を呼びかけるとともに、端末の持ち帰りを推進し、多様な方法で家庭学習に取り組む環境を整えることで、量・質の充実を図っている。

・江陵中

家庭学習週間は、定期テスト前の学習期間と重複していることから、学習計画表を活用し、取組の充実を図っている。

(2) 「家庭学習週間アンケート」

・家庭学習習慣の取組について、児童生徒及び保護者にアンケートを実施し、結果を発信することで意識の向上を図る。

・小中連携部会内で内容を確認し、2月の家庭学習週間に試験的に実施する。

2 「二一乙交流会」について

・12月1日（金）に、今年度2回目の交流会が実施される。時間に都合がつけば参観いただき、意見や感想をいただきたい。

<評価運営部会>

(1) 資料（別添）の説明と確認を行った。

(2) 各校の第2回目の学校評価部会を早めにスクールカレンダーに位置付ける。

(3) 評価運営部会の方々が評価しやすいように、各校の評価のまとめを工夫する。

※（2）（3）は4校の教頭間で確認・調整をはかる。



【各部会に分かれて討議している様子】

委員の皆様の熱心な協議により実り多き会議となりました。ありがとうございました。